

2021年度Aセメスター 法学政治学研究科・法学部の授業科目（講義・演習）の実施形態について

2021年度Aセメスターの各授業科目（講義・演習）の実施形態については、下記一覧のとおりとなるので、事前によく確認しておくこと。なお、実施形態の各区分の概要は以下のとおりである。

①：オンライン形式

リアルタイム型（時間割上の曜日・曜限に参加・視聴）とオンデマンド型（教員が一定の視聴期間を設けて録画教材等を配信し、学生は任意の時間帯に授業を聴講）がある。詳細は連絡事項欄やシラバス等により確認すること。

②：対面形式またはハイブリッド形式

「対面形式」は履修者全員が教室において対面で授業を受ける形式。

「ハイブリッド形式」は教室で授業を行いつつ、その様子をオンラインで配信することにより、対面での参加者とオンラインでの参加者が同時に双方向で授業を受ける形式。

「対面形式」は履修者が少人数であり、全員が対面授業に参加することが可能である場合を想定しています。したがって、履修登録が確定するまでは「対面形式」の方針を決定することができないため、現時点では「対面形式またはハイブリッド形式」として、両者を一括して表示しています。対面での参加が困難である場合には事前（演習の場合は申込時）にその旨を申告しておくこと。

なお、「対面形式またはハイブリッド形式」（初回のみオリエンテーション含む）の教室については追って掲示するので、開講日までに確認すること（ただし、今後の感染状況や教室の収容定員等の関係で、実施形態が変更される可能性がある）。

※ 履修登録の提出期間Aの科目（上級商法Ⅰ・現代法の基本問題・民事模擬裁判・倒産処理研究）は別途掲示済み。

※ 法学部・法学政治学研究科のAセメスターの授業開始は9月27日（月）からです。全学の授業開始日10月1日（金）とは異なるので注意のこと。

授業科目名	担当教員名	講義・演習	実施形態等			連絡事項
			① オンライン形式	② 対面形式 またはハイブリッド形式	演習の場合 で初回のみ 全員対面オリエンテーション	
基本科目行政法 A・B	巽智彦	講義	○			オンデマンド形式と、zoomを用いたリアルタイム形式とを組み合わせ実施する。
基本科目民法3 A・B	石川博康	講義	○			授業はオンラインで実施するが、月に1回程度、対面のオフィスアワーを実施する予定である（参加は任意とする）。
基本科目商法 A	松井智予	講義	○			
基本科目商法 B	神作裕之	講義	○	○		対面形式で講義を行い、一定の期間、その録画データをアップロードする。対面で参加するか、オンラインで講義を視聴するかは学生の自由である。 新型コロナウイルスの状況に鑑み、当面はオンライン形式で行う。状況が許せば、原則として教室で授業を行い、これをリアルタイムでオンラインで配信する。これに対面で参加するか、オンラインで参加するかは、学生の自由である。
基本科目民事訴訟法 A	畑瑞穂	講義	○	○		オンライン形式を基本としつつ、状況に応じて、希望者が対面で参加できるハイブリッド形式の回を設けることを考えている。
基本科目民事訴訟法 B	垣内秀介	講義		○		第1週はオンラインで授業を行う。第2週以降は、クラスをグループ分けし、グループごとに対面またはオンラインでの受講とするが、個別の希望により、オンラインでの受講も可とする。
基本科目刑事訴訟法 A・B	川出敏裕	講義		○		授業は対面形式で行う。対面での参加が困難な学生は、開講時に担当教員に申し出ること。
上級行政法 ①②	斎藤誠	講義	○			T K Cを使って授業の進め方等を案内する。
上級行政法 ③④	太田匡彦	講義	○			
上級民法1 ①	阿部裕介	講義	○			
上級民法1 ②	加毛明	講義	○			授業はオンライン（録画配信型）で実施する。初回に、各回の授業データの閲覧期間について説明するので、注意すること。なお、学期中に数回、対面のオフィスアワーを実施する予定である（参加は任意）。
上級民法1 ③	中原 太郎	講義	○			
上級民法1 ④	米村滋人	講義	○			
上級刑法 ①②	橋爪隆	講義	○	○		オンライン形式とハイブリッド形式を併用する予定です。ハイブリッド形式については、学生を3グループに分けて、グループごとに対面での出席を求めます（対面での参加が困難な場合は開講時にご相談ください）。もっとも、感染状況等によっては全面オンライン形式とし、適宜、対面のオフィスアワーを設ける可能性もあります。詳細は、開講時に説明します。
上級刑法 ③④	樋口亮介	講義		○		感染状況に合わせて全面オンラインにする可能性が直前まであるので、掲示に留意すること。また、対面参加は義務としない。

授業科目名	担当教員名	講義・演習	実施形態等			連絡事項
			① オンライン形式	② 対面形式 またはハイブリッド形式	演習の場合 で初回のみ 全員対面オ リエンテー ション	
民事実務基礎 ①②	石田佳世子	講義	○	⊖		当面はオンライン形式を基本とし、感染状況が改善した場合には、ハイブリッドなど一部対面方式を取り入れることもあり得る。ハイブリッド形式の場合は、学生を3グループ程度に分けて、グループごとに対面での出席を求める予定である。対面での参加が困難な学生は、開講時に担当教員に申し出ていただきたい。
民事実務基礎 ③④	山岸秀彬	講義	○	⊖		当面はオンライン形式を基本とし、感染状況が改善した場合には、ハイブリッドなど一部対面方式を取り入れることもあり得る。ハイブリッド形式の場合は、学生を3グループ程度に分けて、グループごとに対面での出席を求める予定である。対面での参加が困難な学生は、開講時に担当教員に申し出ていただきたい。
刑事実務基礎 ①	岩本憲武、 品川しのぶ、 煙山明	講義		○		ハイブリッド形式で行う。受講生を2つのグループに分け、各授業回ではそのうち1つのグループを指定して対面での出席を求める。対面又はオンラインでの出席が困難な事情がある場合は、当該授業回までに教員に申し出ること。
刑事実務基礎 ②	岩本憲武、 品川しのぶ、 煙山明	講義		○		同上
刑事実務基礎 ③	神山啓史、 津島享子、 唐木智規	講義		○		同上
刑事実務基礎 ④	岩本憲武、 津島享子、 唐木智規	講義		○		同上
法曹倫理 ①	佐藤 正謙	講義		○		しばらくはオンライン形式で実施するが、事態の収束の兆しが見えてくるようであれば、ハイブリッド方式等、対面的要素を取り込むことも想定している。
法曹倫理 ②	新川 麻	講義	○			コロナの感染拡大が収束に向かう場合は最後のほうで一部対面授業を取り入れることも検討する予定
法曹倫理 ③	笠原康弘	講義	○	○		初回以降、しばらくの間はオンライン形式で実施するが、その後感染拡大状況について収束の兆しが見えてくるようであれば、ハイブリッド方式等、対面的要素を取り込むことも想定している。
法曹倫理 ④	波田野晴朗	講義	○	○		オンライン形式での実施を基本とし、コロナ感染の収束の兆しが見えてくるようであれば、対面又はハイブリッド方式に切り替える。
法律相談クリニック	佐藤 正謙	講義		○		しばらくはオンライン形式で実施するが、事態の収束の兆しが見えてくるようであれば、ハイブリッド方式等、対面的要素を取り込むことも想定している。
法律相談クリニック	原悦子	講義	○			オンライン形式を基本とするが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、一部ハイブリッド方式で実施する等、対面的要素を取り込むことも想定している。
法律相談クリニック	笠原康弘	講義	○	○		初回以降、しばらくの間はオンライン形式で実施するが、その後感染拡大状況について収束の兆しが見えてくるようであれば、ハイブリッド方式等、対面的要素を取り込むことも想定している。
法律相談クリニック	三上安雄	講義	○			しばらくはオンライン形式で実施するが、収束の兆しが見えてくるようであれば、ハイブリッド方式等、対面的要素を取り込むことも想定している。
国際契約交渉	平野温郎,Foote	講義	○			
倒産法	松下淳一	講義	○			オンラインで授業を行う。授業の録画データを、一定期間アップロードする。
租税法	神山弘行	講義	○			原則、リアルタイム・オンライン形式で行います。
国際法	中谷和弘	講義	○			
現代アメリカ法 1	溜箭将之	講義	○			授業はオンラインで行う。授業後に授業内容についての質問その他インフォーマルなやり取りをする時間を設けるので、希望する人は気軽に参加してほしい。
比較法 1	浅香吉幹	講義	○			

授業科目名	担当教員名	講義・演習	実施形態等			連絡事項
			① オンライン形式	② 対面形式 またはハイブリッド形式	演習の場合 で初回のみ 全員対面オ リエンテー ション	
法と経済学	田中亘	講義	○			接続方法その他講義への参加方法については、開講時までにITC-LMS（法科大学院生については、TKCライブラリーでも）に掲載するので、受講予定者は確認すること。
法制史1	源河達史	講義	○			全てオンラインで行います。初回講義のURLをITC-LMSで通知します。講義形式、講義内容に関する変更は可能な限りシラバスにも反映させるようにします。
財政法	藤谷武史	講義	○			
地方自治法	太田匡彦	講義	○			
情報法	山口いつ子	講義	○			授業はオンライン形式で実施する。対面形式でのオフィスアワーについては、開講時に受講生と相談する予定である。
立法学	伊藤 和子	講義	○			オンデマンド方式（スライド及び音声データをITC-MLSのコースに登録・各自視聴）で行います。コメントや質問をリアクションペーパーでいただき、個別にフィードバックいたします。共有すべき事項については、次の授業の際に補足説明します。
消費者法	森田宏樹	講義	○			
社会保障法	笠木映里	講義	○			
裁判外紛争処理法	畑瑞穂	講義	○	○		オンライン形式を基本としつつ、状況に応じて、希望者が対面で参加できるハイブリッド形式の回を設けることを考えている。
会社労使関係法	荒木・石綿・三上・水口	講義	○			
ビジネスプランニング	増田 健一	講義	○	○		全面オンラインでの実施を基本とし、状況が許せば、ハイブリッド型を検討する可能性もあります。ただし、ハイブリッド型となった場合も、対面での参加は任意とします。
国際取引法	藤田友敬,原悦子,中谷和弘,松下淳一,増井良啓,平野温郎	講義	○			
金融取引課税法	佐藤修二	講義	○			
コンピュータ法	城山康文	講義	○			
刑事政策	川出敏裕	講義		○		対面形式で実施する予定であるが、参加者が多数に上る場合にはハイブリッド形式に変更する。
経済刑法	和田俊憲	講義	○			全面的にオンライン形式によります。必要に応じて授業内で質疑応答等を行います。
上級金融商品取引法	大崎貞和	講義		○		ハイブリッド形式を想定している。
資本市場と公共政策	小野傑、池田宜睦	講義	○			
国際商事仲裁	唐津恵一	講義	○	○		履修者が少人数であり全員が対面授業に参加することが可能である場合にのみ対面授業を行う。したがって履修登録が確定するまではオンライン形式で行う。なお、模擬仲裁ワークショップを行う期日（11月15日）については、いずれにせよ、対面で行う。
英語で学ぶ法と実務1	大井悠紀	講義		○		原則対面形式で開催する想定だが、感染状況によってはハイブリッド形式を採用する、あるいはオンライン形式に切り替える可能性がある。
英語で学ぶ法と実務2	古田啓昌	講義	○			
演習（商法）	飯田秀総	演習		○	実施しない	ハイブリッド形式で行う。学生を最大10名のグループに分け、対面出席可能な回とオンライン出席の回とをローテーションする。対面出席可能な回であっても、これに対面で出席するか、オンラインで出席するかは、学生の自由である。
演習（商法）	後藤 元	演習	○		実施しない	リアルタイムでのオンライン形式により実施する
演習（商法）	松井智予	演習	○		実施しない	
演習（商法）	朱大明	演習	○	○	実施する	現時点で初回は対面の形で行い、その後オンライン配信の形で実施したいと思います（或いは1か月1回の対面で実施する可能性もあります）。授業の実施方法について、コロナの感染状況により変更することがありうるので、ご注意ください。また、授業の内容について、中国最高裁の判例を中心に、日中会社法の比較を行う予定です。一人一回の報告を担当して頂きたいと思い、筆記試験を実施しないため、その代わりに履修学生に期末レポートの提出を求めると考えています。
演習（民法）	森田修	演習	○		実施しない	リアルタイムのオンラインで実施する

授業科目名	担当教員名	講義・演習	実施形態等			連絡事項
			① オンライン形式	② 対面形式 またはハイブリッド形式	演習の場合 で初回のみ 全員対面オ リエンテー ション	
演習（民法）	加毛明	演習	○		実施しない	オンラインでの開講を予定しているが、参加者の希望に応じて、他の実施形態も検討する。参加希望者は、事前に大学院チームに提出する「志望理由書」に授業の実施形態に関する希望を記入すること。
演習（民法）	米村滋人	演習		○	実施する	最初の1,2回は対面とするが、その後の開講形式は未定。オンラインに切り替えることもありうる。
演習（信託法）	溜箭将之	演習	○		実施しない	授業はオンラインで行う。授業後に授業内容についての質問その他インフォーマルなやり取りをする時間を設けるので、希望する人は気軽に参加してほしい。
演習（刑法）	樋口亮介	演習		○	実施しない	感染状況に合わせて全面オンラインにする可能性が直前まであるので、掲示に留意すること。また、対面参加は義務としない。
演習（行政法）	山本隆司	演習	○	○	実施しない	原則としてハイブリッド形式とし、各人が演習室で参加するかオンラインで参加するかは、全体で調整して決定することとする。感染状況等により、全面オンラインにする回もあり得る。
演習（民事訴訟法）	畑瑞穂	演習	○	○	実施しない	オンライン形式を基本とするが、状況と参加者の希望を踏まえて、対面方式での実施も検討する。
演習（刑事訴訟法）	成瀬 剛	演習	○		実施する	
演習（刑事訴訟法）	大澤 裕	演習		○	—	演習なので、全面的に対面形式で実施する。
演習（民事実務）	作田寛之	演習	○	○	実施する 実施しない	感染症の状況によっては一部又は全部をオンライン形式で行う。出席が困難な者については可能な限り配慮を検討する。 感染状況の悪化を踏まえて当初は全面オンラインで開始することを予定している。状況が改善すれば参加者と相談しながら対面への移行を検討したい。
演習（刑事実務）	唐木 智規	演習		○	実施しない	ハイブリッド形式で実施し、各回とも対面・オンラインのいずれで出席するかは受講生が選択できる。ただし、報告等を担当する授業回は、原則として対面出席をお願いしたい（対面出席が困難な場合は個別に教員に相談されたい）。
演習（知的財産法）	大淵哲也	演習	○		実施しない	オンライン方式で行うことを考えていますが、学生の要望がある場合には、対面方式も検討します。初回はオンライン方式で行います。
演習（知的財産法）	田村善之	演習	○		実施しない	
演習（労働法：労働法政策の現代的課題）	荒木尚志	演習	○		実施しない	状況が許すようになった場合、対面形式に移行したい。
演習（労働法：労働紛争処理と要件事実）	山川隆一	演習	○		実施しない	
演習（労働法：アメリカ労働法研究）	山川隆一	演習	○		実施しない	
演習（Big Tech and Competition Law）	VANDE WALLE, Simon	演習		○	実施しない	To allow for a lively debate, the seminar will be held live in the classroom (not online or in hybrid form).
演習（租税法）	増井良啓	演習	○		実施しない	演習そのものはオンラインとしますが、参加者の希望に応じて、演習の準備等のために研究室等で対面による面談の機会を設けることを考えております。
演習（租税法）	藤谷武史	演習	○		実施する	
演習（国際法）	寺谷広司	演習	○		実施しない	
演習（国際法）	伊藤 一頼	演習		○	実施しない	原則としてハイブリッド形式を予定している。報告担当者は対面で参加、それ以外は対面での参加は任意。対面での参加が困難な学生は、個別に相談すること。なお、感染拡大の状況によっては全面オンライン形式とせざるを得ない場合もある。
演習（国際経済法）	中川・米谷	演習	○		実施しない	オンライン形式で行う。ただし、グループ発表等は感染状況によって対面とすることがある。
演習（国際法判例研究）	中島啓	演習	○	○	実施しない	オンライン形式で開始した後、参加者の意向を踏まえて対面形式に移行するか否かを決定する
演習（ドイツ法制史入門）	田口 正樹	演習	○		実施しない	

授業科目名	担当教員名	講義・演習	実施形態等			連絡事項
			① オンライン形式	② 対面形式 またはハイブリッド形式	演習の場合 で初回のみ 全員対面オ リエンテー ション	
演習（中国法）	高見澤 磨	演習	○		実施しない	リアルタイム・オンラインで演習を行うことを原則とする。状況が許せば、東洋文化研究所において対面の授業を行う。
演習（韓国法）	梁彰洙	演習		○	実施する	ハイブリッド形式で進行する。授業の際に報告を割り振るが、報告を担当する学生については、原則として対面での参加を求める（それ以外は対面での参加は任意である）。対面での参加が困難な学生は、個別に相談すること。
演習（現代フランス社会法）	笠木映里	演習		○	実施する	対面・オンラインのいずれか希望する方法で参加して頂くが、オンラインの場合、可能であればカメラをオンにして参加して頂きたい。なお、受講者数が教室の収容人数を超える場合、対面を希望する学生にオンライン受講を求めることもありうる。
演習（医事法）	米村滋人	演習		○	実施する	すべて対面授業とし、オンラインでの参加は不可とする。
演習（商法: Asian Business Law Seminar 2)	平野(温)	演習	○		実施しない	
演習（憲法）	石川健治	演習	○		実施しない	
演習（法社会学）	齋藤宙治	演習		○	—	対面形式のみで実施する。対面での参加を前提として、参加者を募集する。
演習（憲法：国法学を読む（2））	石川健治	演習	○		実施しない	